

# 産業建設

## 鳥獣駆除 捕獲頭数増加の一途



産業建設常任委員長  
坂本 あや

動に関する予算でした。順調な運営が出来ているという報告でした。

### ●平成25年度一般会計決算の認定

■黒潮町農業公社のハウス建設費、修繕費、貸付金、投資及び出資金は、4月からの稼



植付け準備をする研修生（浮鞭）

■鳥獣被害対策関係では、ハクビシン、タヌキ、アナグマも捕獲対象となっており、イノシシ、シカだけでなく対象鳥獣も増えていきます。その他、農地を守るための罠や電気柵への補助、有害鳥獣駆除隊への報酬などですが、年々捕獲頭数が増えているのに、個体数が減る様子が見えませんが、

捕獲頭数	イノシシ	シカ	ハクビシン	カラス	有害鳥獣対策実施隊出動回数
	678頭	31頭	51頭	34羽	25回

(延べ111人)

■新規漁業就業者支援事業補助金は、新規の若い漁師さんへのものです。今後の活躍を期待するものです。

■産業推進費では大きな事業費が新産業の缶詰工場関係に支出されています。更に町は2250万円を出資し第三セクター経営はじめ4月よりラボ工場も稼動しています。

■農業集落排水事業特別会計の最適整備構想策定業務が行われ、維持経費を調査し、抜本的な対策を決めて行く資料を作成しました。



蜷川クリーンセンター

■道路新設改良費では高規格

道路の用地購入や避難道整備等の多くの繰越明許事業が行われていました。この事業によって町内の多くの避難道、避難広場の整備が急ピッチで行われています。平成25年度は繰越の事業と当年度の防災関係の事業とも重なり多くの事業が発注されましたが、業者さんも忙しく、入札不落になるケースも多くなっています。

### ●平成26年度黒潮町一般会計補正予算

■農業振興費補助交付金として、ハウス整備事業補助400万円、林業振興費として鳥獣被害防除対策事業費が組まれトタンや電気柵を設置する方の希望に応える事業費が追加計上されていました。

■これからの取り組みに期待したい佐賀の漁協にある鯉一本釣りの餌となるイワシの蓄用養事業継続の事業費が組まれました。

■佐賀産直生産組合が新しい工場を建てる費用への県補助金3600万円の計上がありました。

■災害復旧  
先の台風11号で流された有井川の橋脚の工事に目処がつき、用地購入の費用を計上していました。



復旧が待たれる法寿院橋（有井川）